

進路だより～未来に向けて～

For the future



令和7年11月27日NO.3
東京都立多摩桜の丘学園
校長 西田 良児
発行 進路指導部

※フォーザフューチャー：未来に向けて挑戦する児童・生徒を励ます気持ちを込めた進路だよりの愛称です。

いよいよ明日から多摩桜祭です。児童・生徒の皆さんがあそびで楽しんでいる一大イベントですね。今回の「For the future」では、行事や校外での学びがキャリア発達につながっていることを紹介します。

キャリア教育を通して身につけたい4点の「基礎的・汎用的能力」を改めて見てていきましょう。

	キーワード
人間関係形成・社会形成能力	相手の意見を聞く・自分の思いを伝える・役割を果たす・協力
自己理解・自己管理能力	自分を肯定的に受け止める・「できること」「したいこと」を考える・主体的な行動
課題対応能力	課題、目標を見つける・計画を立てて課題と向き合う
キャリアプランニング能力	「どう生きていくか」を考える・自分の役割や働くことを考える

さくらちゃんと キャリア教育をみつけよう！中学部編

今回は中学部の様子です。

肢体不自由教育部門（I部門） 中学部「ダルニー奨学金募金活動」

「ダルニー奨学金」とは、公益財団法人国際センターが運営する奨学金制度で、東南アジアの経済的に困難な中学生に学費の支援を行います。多摩桜の丘学園では、ESD（持続可能な開発のための教育）の一環として、この奨学金のための募金活動を行っています。



これは永山駅で募金活動をしている時の写真だよ。地域の方に募金を呼び掛けたり、お金を預かりしたりすることは、社会の中で人間関係を広げる大切な機会だよね。

募金活動をする前は、役割分担をしたり、どんな言葉で呼びかけるかを相談したりと計画を立てて準備しているんだ。

「ダルニー奨学金」では集めた募金で「どの国の支援をするか」を自分たちで決めることができるんだ。生徒のみんなで、話し合いを通して支援する国を決めているよ。相手の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりする大事な力になるんだね。

この募金活動を通して、社会の中での自分の役割を考えるきっかけになっているよ。



知的障害教育部門(Ⅱ部門) 中学部「さくら電鉄」

Ⅱ部門中学部の「生活単元学習」では「おもてなし」をテーマにしており、2年生は「さくら電鉄」を通して学習を深めています。惜しまれつつも今年が最後のさくら電鉄の活動を、キャリア教育の視点からぞいてみましょう。



1学期には校外学習で公共交通機関を利用して「京王れーるんど」に行ったよ。そこで鉄道の仕事について勉強したんだ。電車やバス、モノレール等の利用経験は卒業後の生活(仕事や余暇)を広げるきっかけにもなるね。

左下の写真は京王電鉄の方が出前授業に来てくれた時の様子だよ。実際に社員の方から、働くときに大切なことや大変なことを教えてもらったよ。さくら電鉄がよりよくなるためのアドバイスをもらったんだ。このアドバイスをもとに、自分たちで課題を考え、接客などを改善したんだって。

「おもてなし」の気持ちって、お客様(相手)の気持ちを考えることにつながるし、「誰かのために頑張る(働く)」という意欲が育っていくね。



いかがでしたか。実際の体験や経験を通した学習は大きな力になります。両部門ともに、「基礎的・汎用的能力」の中から「仲間と協力してそれぞれの役割を果たすこと」や「目標を設定するとともに自分たちで課題を考え解決すること」を大切にして、他者の役に立ったりお客様に喜んでもらえたりする活動をしてきました。

次回は高等部の生徒が自分の進路を考えていく様子を御紹介します。

保護者対象 学習会・研修会のお知らせ

今年度は以下の日程・内容で計画しています。開催が近くなりましたら、詳細の御案内をクラッキーにて配信します。ぜひお申し込みください。(場所は研修会議室です。)

● Ⅰ・Ⅱ部門 小学部・中学部保護者学習会 ●

日時：令和8年1月13日(火)午前10時から正午まで

内容：講演「親なきあと～親いるあいだの準備～」

● Ⅰ・Ⅱ部門 高等部保護者研修会 ●

日時：令和8年2月10日(火)午後1時10分から午後3時まで

内容：「障害基礎年金制度の概要と申請手続きについて」

お忙しいことと思いますが、ぜひ、今から御予定ください!